

「科学技術動向」から新メディア「STI Horizon」へ

科学技術・学術政策研究所では、2001年1月の省庁再編による文部科学省及び科学技術動向研究センターの発足を機に、本「科学技術動向」誌を創刊しました。本誌では、政策的意思決定に資することを目的に、他の媒体では扱っていない新規性・速報性の高い科学技術や関連政策の動向を、幅広い科学技術分野から参集したセンターの専門家を中心に、速読性の高い記事にまとめて発信してまいりました。こうした中、最近では科学技術イノベーション政策や、中長期の政策・戦略フレームの検討に資するべく、従来の科学技術動向の俯瞰を発展させ、現在認識できる範囲の境界を広げて、社会の微小な変化、兆候（weak signal）を幅広く捉え、その兆候が今後どのようなインパクトを与えていくのかを考えるホライズン・スキヤニングの手法が重視されてきております。

こうした状況下で、今後のこの種のメディアの編集・発行の在り方に係る新たなコンセプトの議論を重ねた結果、本2015年7・8月号にて本「科学技術動向」誌を発展的に解消し、科学技術イノベーション政策の新潮流に係るより高度なNISTEPの情報メディア「STI Horizon」を立ち上げることとしました。

「STI Horizon」においては、社会の微小な変化、兆候（weak signal）を鋭く捉え、産学連携・起業や人材の動きにも着目しつつ、NISTEPが行う幅広い調査研究に立脚した注目情報をいち早く発信します。企画・編集に当たっては、専門家の知見と経験に基づく動向分析の強みも生かしつつ、ホライズン・スキヤニングの要素を取り入れることにより、より先見の明かつ広範な視野に立った科学技術イノベーション政策への示唆を与えていくことを目指します。

さらに、情報ソースの多様化やソーシャルメディアなど、双方向・ネットワーク型のコミュニケーションの拡大等によって、情報メディアの役割・機能が急速に変化してまいります。「STI Horizon」では、Webを活用した速報性の高い編集・発信体制を整え、ソーシャルメディアとの連携や、論考を支えるデータ刊行機能の導入等、最近の情報受発信環境の進化に応じた新しいメディアの在り方も指向してまいります。

14年半の長きにわたっての「科学技術動向」誌に対するこれまでの御愛顧に深謝するとともに、生まれ変わる、科学技術イノベーション政策の新たなメディア、「STI Horizon」をどうぞよろしく願いたします。

文部科学省 科学技術・学術政策研究所
所長 奈良 人司

このレポートについての御意見、お問合せは、以下のメールアドレス又は電話番号まで願いたします。

なお、科学技術動向のバックナンバーは、以下のURLにアクセスいただき「科学技術動向一覧」で御覧いただけます。

引用する際は、出典を明記していただくよう、願いたします。

文部科学省 科学技術・学術政策研究所 科学技術動向研究センター

【連絡先】 〒100-0013

東京都千代田区霞が関3-2-2 中央合同庁舎第7号館東館16F

【電話】 03-3581-0605 【FAX】 03-3503-3996

【URL】 <http://www.nistep.go.jp>

【E-mail】 sttrends@nistep.go.jp